当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（設定日：2024年12月20日）	
運用方針	ＳＢＩ・Ｓ・米国高配当株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の株式を主要投資対象とするETF（上場投資信託証券）に投資することにより、主として配当等収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド(ベビーファンド)	ＳＢＩ・Ｓ・米国高配当株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド(ベビーファンド)	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。
	マザーファンド	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。
分配方針	年４回、原則として、３月、６月、９月、12月の各19日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。収益分配にあてなかった留保益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

SBI Asset Management

運用報告書（全体版）

第１作成期

第１期（決算日　2025年３月19日）

ＳＢＩ・Ｓ・米国高配当株式ファンド（年４回決算型）（愛称：Ｓ・米国高配当株式100）

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ＳＢＩ・Ｓ・米国高配当株式ファンド（年４回決算型）（愛称:Ｓ・米国高配当株式100）」は、2025年３月19日に第１期決算を行いました。

ここに第１期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木１－６－１

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の９：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

https://www.sbiam.co.jp/

○設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託証券組入比率	純資産総額
		(分配落)	税込分配金	期中騰落率		
	(設定日)	円	円	%	%	百万円
第1作成期	2024年12月20日	10,000	－	－	－	59,611
	1期(2025年3月19日)	9,773	0	△2.3	99.3	122,358

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
(注3) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の株式を主要投資対象とするETF（上場投資信託証券）に投資し、主として配当等収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

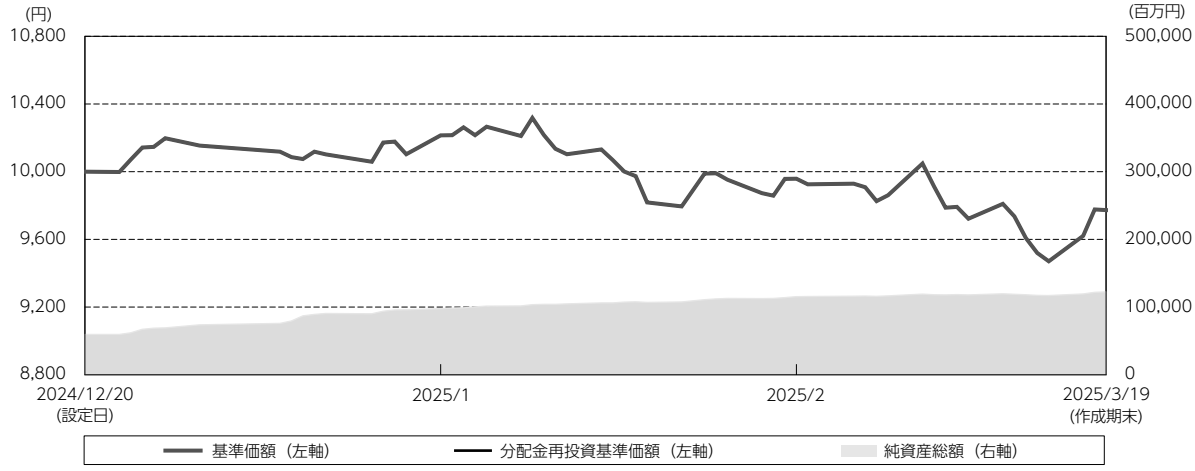
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
			騰落率	
	(設定日)	円	%	%
	2024年12月20日	10,000	－	－
	12月末	10,154	1.5	101.9
第1期	2025年1月末	10,103	1.0	100.2
	2月末	9,861	△1.4	99.7
	(期末)			
	2025年3月19日	9,773	△2.3	99.3

(注1) 騰落率は設定日比です。
(注2) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の株式を主要投資対象とするETF（上場投資信託証券）に投資し、主として配当等収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

■当作成期の運用状況と今後の運用方針（2024年12月20日から2025年３月19日まで）

○基準価額等の推移



設 定 日：10,000円
第１期末： 9,773円（既払分配金（税込み）：０円）
騰 落 率： △2.3%

（注１）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、設定日（2024年12月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注４）当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の株式を主要投資対象とするETF（上場投資信託証券）に投資し、主として配当等収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因
・米国景気の軟着陸への期待
・人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
・対円で米ドルが上昇したこと

下落要因
・米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派的な姿勢
・景気後退懸念の高まり
・トランプ政権の関税政策による不確実性の高まり
・対円で米ドルが下落したこと

○投資環境

＜米国株式市場＞

当期、米国株式市場は下落いたしました。2024年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）では、FRBが利下げを決定したものの、25年の予想利下げ回数を２回に半減させたことなどから米長期金利が大幅に上昇し、上値が重い展開となりました。１月は、コアCPI（消費者物価指数）の伸び鈍化や、米大統領就任初日の関税引き上げ見送りもあり、上昇基調でしたが、２月に入りトランプ政権による関税政策や、米企業景況感や消費者信頼感の下振れから景気減速懸念が高まったことで下落し、作成期末を迎えました。

＜為替＞

設定当初は１ドル157円台で始まりました。当該期間では、国内で2025年１月の日銀政策決定会合において利上げが決定されたことや今後も利上げが予想され国内金利が上昇したこと、海外では米企業景況感や消費者信頼感の下振れから景気減速懸念が高まったことがあり、円高／ドル安傾向で推移し、148円台で作成期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ

＜当ファンド＞

米国の株式を実質的な投資対象とし、配当等収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目標として、主要投資対象であるＳＢＩ・S・米国高配当株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

＜ＳＢＩ・S・米国高配当株式マザーファンド＞

主要投資対象である「シュワブ・米国配当株式ETF」の組み入れを高位に維持しました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95％以上の組入比率を維持しました。作成期末の組入比率は99.3％となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の株式を主要投資対象とするETF（上場投資信託証券）に投資し、主として配当等収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

○分配金

収益分配金につきましては、当作成期中に主要投資対象であるETFからの受取配当が見込めなかったことから、第２期（2025年６月19日）決算日以降に分配金をお支払いすることを想定しております。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第１期 2024年12月20日～ 2025年３月19日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	0

（注１）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注２）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

＜当ファンド＞

引き続き、主要投資対象であるＳＢＩ・S・米国高配当株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。

＜ＳＢＩ・S・米国高配当株式マザーファンド＞

引き続き、「シュワブ・米国配当株式ETF」を主要投資対象とし、配当等収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。

○１万口当たりの費用明細

（2024年12月20日～2025年３月19日）

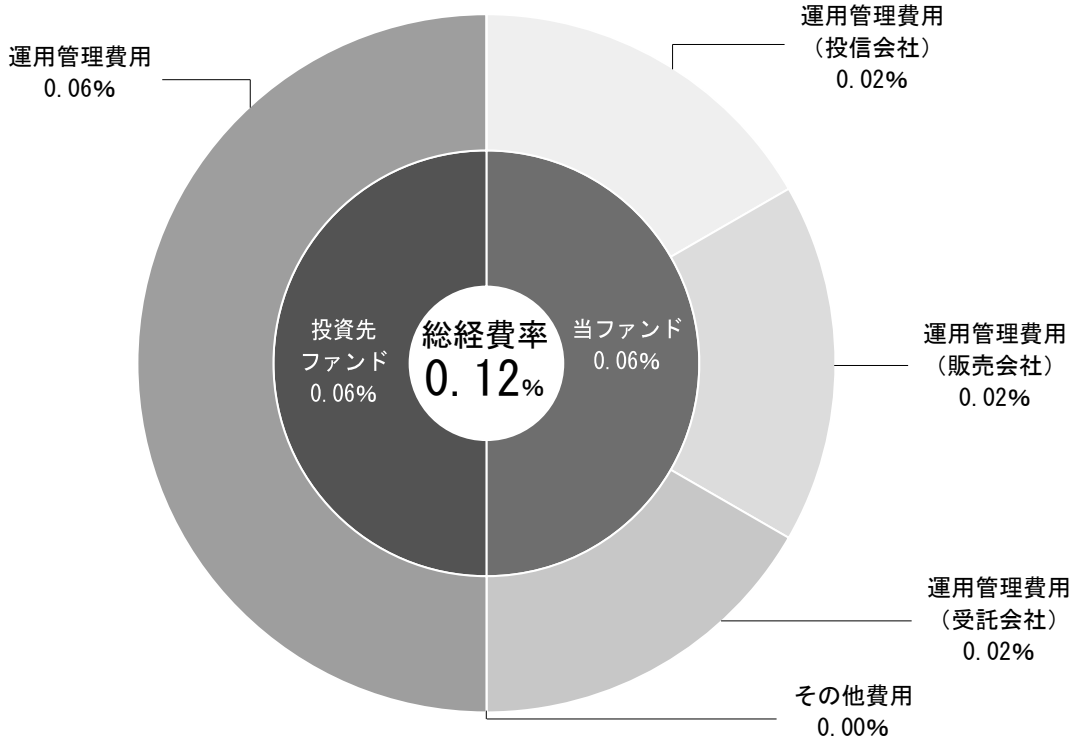
項　　目	第１期		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
	円	%	
(a) 信　託　報　酬	2	0.016	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（投　信　会　社）	(　1)	(0.006)	委託した資金の運用の対価
（販　売　会　社）	(　1)	(0.006)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(　0)	(0.004)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b)売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c)有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ　の　他　費　用	0	0.001	(d)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保　管　費　用）	(　0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監　査　費　用）	(　0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印　　刷）	(　0)	(0.001)	開示資料等の作成・印刷費用等
合　　計	2	0.017	
作成期中の平均基準価額は、10,039円です。			

（注１）作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注３）項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注４）売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注５）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.12%です。**



総経費率（①＋②）	0.12%
①当ファンドの費用の比率	0.06%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.06%

（注１）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。
（注４）投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2024年12月20日～2025年３月19日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第１期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ＳＢＩ・Ｓ・米国高配当株式マザーファンド	130,923,799	131,291,880	5,732,137	5,707,910

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2024年12月20日～2025年３月19日）

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2025年３月19日現在）

親投資信託残高

銘柄	第１作成期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ＳＢＩ・Ｓ・米国高配当株式マザーファンド	125,191,661	122,374,849

（注）単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2025年３月19日現在）

項目	第１作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
ＳＢＩ・Ｓ・米国高配当株式マザーファンド	122,374,849	99.7
コール・ローン等、その他	312,873	0.3
投資信託財産総額	122,687,722	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。

（注２）ＳＢＩ・Ｓ・米国高配当株式マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建て純資産（121,475,699千円）の投資信託財産総額（123,307,622千円）に対する比率は98.5%です。

（注３）外貨建て資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。１ドル＝149.69円。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項　　目	第１期末 2025年３月19日現在
	円
（Ａ） 資産	122,687,722,331
コール・ローン等	23,174
ＳＢＩ・Ｓ・米国高配当株式マザーファンド(評価額)	122,374,849,157
未収入金	312,850,000
（Ｂ） 負債	329,349,809
未払解約金	312,838,099
未払信託報酬	15,515,550
その他未払費用	996,160
（Ｃ） 純資産総額（Ａ－Ｂ）	122,358,372,522
元本	125,194,709,338
次期繰越損益金	△　2,836,336,816
（Ｄ） 受益権総口数	125,194,709,338口
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	9,773円

〈注記事項（運用報告書作成時には監査未了）〉
（貸借対照表関係）

作成期首元本額	59,611,511,653円
第１期中追加設定元本額	71,315,564,316円
第１期中一部解約元本額	5,732,366,631円

（注）当作成期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,836,336,816円です。

○損益の状況

項　　目	第１期 2024年12月20日～2025年３月19日
	円
（Ａ） 有価証券売買損益	**△3,159,772,878**
売買益	70,781,529
売買損	△3,230,554,407
（Ｂ） 信託報酬等	**△　16,511,710**
（Ｃ） 当期損益金（Ａ＋Ｂ）	**△3,176,284,588**
（Ｄ） 追加信託差損益金	**339,947,772**
（売買損益相当額）	（　339,947,772）
（Ｅ） 計（Ｃ＋Ｄ）	**△2,836,336,816**
（Ｆ） 収益分配金	**0**
次期繰越損益金（Ｅ＋Ｆ）	**△2,836,336,816**
追加信託差損益金	339,947,772
（配当等相当額）	（　237,612）
（売買損益相当額）	（　339,710,160）
繰越損益金	△3,176,284,588

（注１） 損益の状況の中で**(A)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
（注２） 損益の状況の中で**(B)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注３） 損益の状況の中で**(D)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注４） 第１期計算期間末における費用控除後の配当等収益（０円）、費用控除後の有価証券等損益額（０円）、および信託約款に規定する収益調整金（237,612円）より分配対象収益は237,612円（10,000口当たり0.01円）ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2025年３月19日現在）

＜ＳＢＩ・Ｓ・米国高配当株式マザーファンド＞

下記は、ＳＢＩ・Ｓ・米国高配当株式マザーファンド全体（125,191,661千口）の内容です。

外国投資信託証券

銘柄名		第１作成期末			
		口数	評価額		比率
			外貨建金額	円換算金額	
（アメリカ）		口	千ドル	千円	%
SCHWAB US DIVIDEND EQUITY ETF		29,065,678	811,513	121,475,490	99.3
合計	口数・金額	29,065,678	811,513	121,475,490	
	銘柄数＜比率＞	1	－	＜99.3%＞	

（注１）円換算金額は当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。
（注２）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。
（注３）評価額の単位未満は切捨て。

ＳＢＩ・Ｓ・米国高配当株式マザーファンド

初回決算日（2025年９月19日）を迎えていないため、運用報告書の掲載はございません。